

『テニピン』実施レポート (日本テニス協会ホームページに掲載予定)

学校名	長岡京市立長岡第九小学校	実施日	2024年2月中旬～3月中旬
担当教員名	宮部 美里	実施学年/人数	6年生/76人
学習指導計画 (簡易で可)	<p>全5時間 1時間目：キャッチ&ラリー・狙ってさん 2時間目：ペアラリー・試しのゲーム 3時間目：ゲーム練習 4・5時間目：ゲーム</p>		
授業の実際 (授業の様子)	<p>本校では、今までネット型ゲームはプレルボールやソフトバレーボールばかりで、テニピンは初めての実施となった。ソフトテニス習っている児童が数名おり、基本的な打ち方（フォアハンド、バックハンド）の練習の際には、普段活躍の少ない児童も率先して友達に教える姿が見られた。初めてテニス型のゲームをする児童にとっては、手のひらで打つラケットは扱いやすく、数回の練習で大体の児童がうまく打てるようになっていた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		
授業づくりの工夫 指導の工夫	<p>①ラケットをつけず、ボールがどのように跳ねるのか、自分がどの位置にいれば跳ねたボールが腰のあたりにくるのかなどを確かめさせた。 ②ラケットをつけ、ラケットのどの部分にボールが当たると自分が狙っている方向に打てるかを確かめさせた。またコートにフラフープを置き、それを狙う「狙ってさん」も行った。 ③ペアでラリーを行い、ラケットで打つ感覚や動きながら狙ったところへ打つ感覚を身につけさせた。 ④ゲーム実施の際は、ペアまたはチームでよく話し合いをさせながら行った。また常に前向きな声かけをし、「失敗しても大丈夫、みんなでゲームをするのが楽しい!」と感じられる雰囲気づくりをどのチームにも意識させた。</p>		
感想・質問 今後の実施予定等	<p>初めて実施するスポーツということもあり、どの児童も積極的に参加していた。特に普段、運動が苦手だと感じている児童も意欲的にゲームに参加するなど、楽しんで運動する姿が見られた。全員がラリーをしてボールに触らないとゲームがスタートしない、ペアで交代ごうたいに打つ、などのルールで全員がボールに触れる機会が多いことなどがよかったのだと感じた。中学校入学前の実施だったため、中学校での部活選択の1つにソフトテニス部があがった児童もいた。また指導のためのガイドブックが分かりやすく、指導の際にとても役に立った。 令和5年度は6年生だけの実施となったが、令和6年度は、1学期に5年生と6年生のネット型ゲームでテニピンを実施する。実施に向けて長期休み中に、職員間で試しのゲームなどを行う予定である。</p>		